



コロナ禍以前は例年9月の第一土曜日
に開催していましたが、学生さんの都合に
より今回は11月開催
になり、しかも、天候
が急変してとても寒い
日になりましたが、熱
心な落語ファンの方が
20数人来場してい
た
だきました。

4年ぶりに落語会 開催
ーまちづくり亭「今井寄席」ー
11月11日(土)19、20時、今井まちや館
において当保存会主催の落語会を開催し
ました。この落語会は、まちづくり亭「今井
寄席」という名称で第一回目を平成20年
(2008)に催してから、コロナ禍で3年
間の中断を経て、今回が第13回になり、十
二の干支(えと)を一巡りして二巡りに
入ったところで、当保存会の定番の催し物
となっております。

いまいは今
vol. 282

発行 今井町並み保存会
発行日 令和5年12月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで



第三席目(トリ)
は「三枚起請」を古
都家 藤吉さんが30
分以上にわたって
演じてくれました。
三人で一時間余り

ていました。
第二席目(モタレ)は「ふだんの袴」を女
性の古都家 函仁和(はこにわ)さんが演じ
ました。これも、煙草のキセルの火種が「普
段(ふだん)の袴」に落ちる話が「普段のあ
たま」に落ちてしまい、大笑いの結末にな
りました。



池「古都家 猪酒菊
(いさき)さんが演
じるというハプニン
グもありましたが、
話の終りの「阿弥
陀が行け」というオ
チがバツチリ決まっ

当日は、奈良大学
落語研究会(「古都
家」の一、二回生の
部員が5人来町し
て、うち3人が3席
の落語を語ってく
れました。
第一席目(開口)は、「時そば」の予定でし
た。しかし、演者の古都家 飛羽(ひばな)
さんが体調不良で急遽変更して、「阿弥陀
池」古都家 猪酒菊



本当に時間の経つのを忘れるくらい皆さ
ん元氣よく熱く語ってくれましたので、聞
きごたえがありました。来年は例年通り9
月上旬の開催を目指したいと思いました。
今井小学校 校外写生大会等
見守り活動実施
10月17日(火)、6年生の写生大会が行
われ、蘇武橋公園、華蕙、今井西環濠広場、
河合酒造周辺で当保存会、自治会の4人
が児童が安心安全に写生ができるよう見
守りました。
10月18日(水)、2年生の「町のたんけん」
という学習で端壮薬品、恒岡醤油店、はに
わ饅頭、順明寺の4カ所にあらかじめ用意
した質問をするのに付き添い、往復の安全
を確保しました。
10月20日(金)、4年生の「今井町を描
こう」(写生大会)で今井西環濠広場、蘇
武橋公園周辺で見守りサポートを実施し
ました。
以上、3つの活動に先立ち10月10日(火)
には3年生の校区たんけん「ふしぎ発見」
(10月号掲載)の第二回目として、今井の
秋祭りやダンジリについて当保存会中西
会長が出張授業で児童の質問に回答しま
した。
これら見守り活動の後には、子供達から
お礼の手紙が届いて見守りに従事したお
爺さん達は感激でした。

全国ゼミ小樽大会に参加して

若林 稔

第46回全国町並みゼミ小樽大会の概要は、前回に中西会長が記載しておられるので私は「小樽といえは運河保存運動」というほど有名になった舞台に來たのだからということ、水辺を中心とした分科会に参



加して親水ということに触れてみました。ヘドロの運河を埋め立てて活用しようとする都市計画に立ち向かい、運河保存運動に昇華させた峰山富美女史の起動もさることながら、その後続いた9万人を超える保存運動の成

果は大きなものである。

その小樽運河には3度目の訪問であったが、1回目のあの感動は何だったのだろうか?と思う節が多く残った。

観光客は多く歩き、それを目当ての物売りが多い。観光資源の域を出ていない。

分科会でも親水という言葉がひっきりなしに出てきたが「水に入る」、「水を活用する」という言葉やスライドが1枚も出てこなかった。「はっきり言って水際にこれより先は危険!」の標識が暗黙の裡に建てられている感じを受けた。

全国の町並み保存の在り方に置き換えても、やはり、これまでの町並みや地域の保存、観光資源の考え方は、官公に頼るとか、見る運河(町)ではなく、我々が活用する運河(町)に進むべきで、次のステップである町に合った活用の時代早く入らなくてはいけない!と運河を見つめながら考えていた。



はならあと2023

今井エリア来場人数 大幅増加

10月20日(金)〜29日(日)、10日間にあつて今井町内ではならあとを開催。本来、今井町の秋祭りに合わせて開いていました

はならあと 開会式



が、今年には檀原市長選挙の投票日(10月22日(日))になつた為、秋祭りが一週間前倒しとなり、また奈良医大の白檀生(かしふ)祭も同時期に開催され、はならあとサテライト

今井エリアは単独のイベントとなりました。はならあとや地区との連携は図られているというものの集客という点では大きな期待がもてませんでした。会期中の延べ総来場者人数は6772人となり、昨年実績を3000人以上上回りました。しかし、サステイナブル講座は会期中1日を除いて9日間、午前・午後の一泊二回町づくりや環境保全に関する各方面の講師にお願いしましたが、参加者が前年を下回る残念な結果になりました。

サステイナブル講座



コア会場の大宇陀松山地区においては、3484人、桜井戒重地区で1003人、はならあと全体でプレイベントも合わせた総来場者人数が14012人という状況で、今井エリアの来場者数が突出していました。

保存会の年末大掃除

12月24日(日) 9時〜

年末年始休館のお知らせ

12月25日(月)〜1月5日(金)

今井まちや館、重文旧米谷家

今井景観支援センター、今井町町並み保存会